

宮城県

1. 商品名等

商品名	鹿島台商業オリジナル ミニランタンシェードセット (LED ミニランタン+オリジナルシェード)	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
 	<p>本校の商業科と地元企業（東北プレス工業株式会社）が連携し、同社のキャンプ用品ブランドである Orantia（オレンティア）の製品として生徒がデザインを手がけたオリジナルのミニランタンシェード。</p> <p>ファイバーレーザー加工の技術を活用し、クローバーをイメージした模様や、同ブランドのイメージキャラクターのボーダーカラーをイメージしたアイコンなど、生徒自身が考案したデザインを金属シートに刻み込んだ。</p> <p>LED ミニランタンに装着することで暗所に映し出される光と影が美しく、USBでの充電式なので、インテリア・アウトドア・防災用途として幅広く楽しめる。</p> <p>パッケージや説明書も生徒が作成し、商品開発から広報デザインまで一貫して高校生が手がけた点が特徴である。</p>	

2. 学校紹介

学 校 名	宮城県鹿島台商業高等学校		電 話	0 2 2 9 - 5 6 - 2 6 6 4	
住 所	宮城県大崎市鹿島台広長字杵師前 44		F A X	0 2 2 9 - 5 6 - 2 4 6 1	
担 当 者	齋藤 一		瀬戸 静江		牛袋 和義
U R L	https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/				
E-mail	kasimadai-ch@od.myswan.ed.jp				
教育基本方針は「生徒が心身ともに健康で、将来、社会において活躍できる人材となれるよう基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会で必要な知識や技術の修得ならびに倫理観や道徳心の涵養に努める。もって生徒や保護者、地域の期待に応えられる学校を目指す。」です。起業家教育をさらに発展させ、地域と連携した活動を行う中で、人とのつながりを大切に、他者を思いやる心を育てていきます。また、学習習慣を確立させるとともに、進路指導を中核に3年間を見通した系統的なキャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図ります。学校行事と部活動を活発化させ、生徒が充実感を味わえるような学校づくりに努めています。					

3. 実施科目等

科 目 名	課題研究	単 位 数	3単位
対 象 生 徒	2 学年（令和 6 年度入学生）	担当教員数	4 名

4. 予算関係(費用)

東北プレス工業株式会社が全額負担

5. 開発経緯等

2024 年 11 月

鹿島台秋の互市において、オリジナルブレンドコーヒーの販売補助を行ったことをきっかけに、「互市場で生徒が開発した新しい商品を展開したい」という声をいただいたことが発端。

2025 年 6 月～7 月

レーザー加工技術を使つての、通常サイズのランタンシェードの開発がスタート。

購入者層を分析し、キャンプ用品としてだけでなく、インテリアや防災での視点も含めた用途の考案、デザイン案の作成、パッケージ構成、価格設定、PR 方法などを検討した。

デザイン班は Illustrator と LibreCAD を用いて複数のデザイン案を制作し、レーザー加工機での試作を繰り返した。試作品を県内イベントで展示するなどし、消費者の反応の確認などを行った。

2025 年 9 月～10 月

使用感やコスト面を考慮した結果、サイズを小さくし、ミニシェードとした。完成したミニランタンシェードを基に、LED ミニランタンとのセット化を決定。

チラシや POP 広告を作成し、鹿島台互市で限定数量での販売見込みを立てた。

2025 年 11 月

鹿島台秋の互市において、生徒が販売・説明・会計を担当。

メディアからの取材や、地域の方々から高い評価を受け、新たな鹿島台商業高校の商品として認知を広げることができた。

なお、コーヒー製造にご協力いただいている HATANAKA COFFEE ROASTER 様の店舗での設置、販売についても許可をいただいております、カフェでの雰囲気作りにも一役買う形となっている。

6. 販売形態・期間

④・
無

2025 年 11 月 鹿島台秋の互市にて 3 日間限定で販売。

限定価格：1 セット 2, 500 円（シェード+LED ミニランタン）

単品 1, 800 円（シェードのみ）

通常価格：1 セット 2, 800 円（シェード+LED ミニランタン）

7. 協力者等

④・
無

東北プレス工業株式会社

8. 商標登録の有無

有・
④

9. 今後の課題・展望等

2025 年 11 月の鹿島台秋の互市での反省をいかしながら改良を加え今後も販売する予定である。地域の店舗でのインテリアに利用していただくように働きかけるなどの営業をしつつ、ブランド知名度の認知向上や、新たなアイデア創出などに繋げられるよう、継続した取り組みにしていく方向である。令和 9 年度に新設される学校の高校生カフェに繋がる取り組みにしたい。